

第 214 回 昭和の森自然観察会

どんぐり博士になろう！

井上智史(千葉市)

日 時：2009 年 10 月 11 日(日) 13～15 時 天気：快晴

参加者：51 名（大人 24 名 子ども 27 名） 指導員 28 名

担当指導員：八木千里・竹内利子・井上智史

空が青くすみわたり、どんぐりはぴかぴかしてじつにきれいでした。

宮沢賢治「どんぐりと山猫」

すばらしい秋晴れの下に広がる”市町村の森”で、7 種類のどんぐりを見て廻りました。コナラはどんぐりらしいどんぐり。小さな穴のあいているどんぐりを割ってみると中にはどんぐり虫。最初の 1 人が見つけたあとは「あっ、ホントだ」と他の人も続き、意外にも場が明るくなった。クヌギの枝には立派などんぐり。でもそれは去年のもの。今年のどんぐりはとってもとっても小さい。カシワのどんぐりはクヌギに似ている。それよりもなによりも、柏餅の葉っぱの木にもどんぐりがなるんだ！マテバシイはよくみかけるけれど、もうほとんど落ちてしまっている。それに対してアラカシはまだ青くて小さいものが枝についている。シカラシはたくさん落ちているし、枝にもたくさんついている。お椀(殻斗)はコナラと似ているようだけど、模様が違う。スダジイのどんぐりは、ちょっといびつで、殻斗の様子も他のものとは違う。足元には実生がたくさん。ゴメンナサイとちょっと引き抜いて、どこから芽や根が出ているかみんなで観察。

残りの時間でシラカシのコマ作りと、マテバシイのヤジロベ作り。うまく回ったり回らなかつたり、バランスがとれたりとれなかつたりで、悔しいやら楽しいやら。

と、あつという間の 2 時間でした。参加者の方々からの声としては、どんぐりといつてもいろいろな種類があることがわかって楽しかった、というものが多かったです。その「楽しかった」理由の中に、いくつかの驚きや発見があったのではないかと思います。今回参加された方の半数以上は、昭和の森自然観察会への参加が初めてのようでした。そういう方々も、次回やその先の観察会にまた参加していただけたら嬉しいです。

私はこの 2 月に入会し、その後何回か昭和の森自然観察会に参加させていただきました。そして今回、初めて担当として参加しました。どんぐりのことはほとんど何も知らなかつたので私なりに勉強したのですが、観察会ではなるべく現場にあるものから驚きや発見が得られるような組み立てにしたつもりです。今になってみれば、ああ言えばよかつた、こうすればよかつた、と思う点が多くありますが、それは次回以降に活かしたいと思います。他にも、子供目線あまり話せなかつたことや、最後のまとめ(振り返り)がうまくできなかつたことなどが私の反省点です。

今回、八木さん、竹内さんと 3 人で担当しましたが、下見から資料作成、事前準備まで河添さんにお手伝いいただき、またご指導いただきました。当日は多くの指導員の方々にご協力いただきました。みなさまどうもありがとうございました。

この次もがんばります！